

構想日本

に期待することを聞いてみました！

構想日本ほど広範囲で色々な人に支えられているシンクタンクは日本にないと思います。だからこそ構想日本にはタブーがありません。私も構想日本に頼まれると大概お引き受けしますが、現場力と本質を捉える視点は、外務大臣としても大変参考になります。このようなシンクタンクが活躍することは、これから日本にとってますます大切になります！

外務大臣・衆議院議員
河野 太郎

加古川市では、構想日本の皆さんと、本市の既存事業について公開の場で議論をするという取組を4年間続けてまいりました。何事にも「協働」というコンセプトが欠かせない今、構想日本の諸取組が、一人でも多くの市民が政治や行政に関心を持ち、地域課題の解決へ向けて主体的に行動するきっかけとなることを期待しています。

兵庫県加古川市長
岡田 康裕福岡県大刀洗町「住民協議会」委員
古賀 そのみ

「住民協議会」に参加し意識が変わり行動を起こす大切さに気づいた住民の一人です。
何気ない日常の中に政治は絡んでいることを知り、私たちが住む町の課題を、自分ごとと受け止め解決を目指し一人ひとりが町に感心を持つことが大切だと思う様になりました。誰もが自分らしく暮らせる社会づくりの為の改革を期待しています。

構想日本は政治・行政にとどまらず、世直しを目指す団体だ。正直言って、こんなドンキホーテのような活動が20年よく続いたと思う。

酒も20年寝かせると十分飲み頃だ。そろそろ世直し樽の栓を抜いてうまい酒を飲みたい。志のある人に大いに飲んでもらって、日本に溜まった澱や世の中を覆っている蓋を思いきり吹き飛ばしてほしい。

セコム株式会社
取締役最高顧問 / 創業者
飯田 亮

私は現在営利企業を経営しておりますが、世の中には企業だけでは解決できない問題は多くあります。私もいくつかのプロジェクトをご一緒させていただきましたが、構想日本はそういう利益がでなくても重要なことをやるための箱であって欲しいなと思っています。これからも構想日本の活動に期待しております。

五の方から熱いメッセージを頂きました。心から御礼申し上げます。

みなさん立場も世代も異なりますが、それぞれの領域のリーダーであり、構想日本発足当初から支援して頂いたり、一緒に仕事をしたりしてきた方々です。「重要なことをやるために箱」「そろそろ栓を抜け」「タブーなし」「主体的に行動するきっかけ」「自分ごと」。これらの言葉に大いに励まされると同時に、構想日本が果たすべき役目や可能性をあらためて思い、スタッフ一同心を引き締めています。

先頃の株価急落は、金融市場と世界経済の不安定さを示しています。日本の経済も政治もこれから大きく動かざるを得ないでしょう。すぐに“栓を抜ける”よう、そして頂いた言葉に応えられるよう、常に用意を怠らないようにしたいと思います。



代表 加藤 秀樹

1年間の「投資」の効果を必ず出します！～自治体から派遣されている3人組～



兵庫県淡路市役所
藤阪 友哉

「地元では 知りえない人脈」

自治体職員、国会議員、企業の社長・役員、省庁職員など、第一線で活躍されている方々と直接話し、見識を広めることができました。なかでも、多くの他自治体の職員と繋がることができ、淡路市と他自治体の取組みを比較できたことは大きな財産です。



群馬県太田市役所
町田 力

「何のために」 強い目的意識」

構想日本で良く出る言葉は「何のために」。太田市住民協議会では、何を目的に実施するのかを強く意識して臨みました。参加した住民の意識変化、さらに自ら行動を起こす姿も見ることができました。目的を意識して仕事をする重要さを実感できました。



愛知県名古屋市役所
中岡 才士

「事業を 俯瞰する視点」

構想日本で、様々な自治体を訪れる中、事業担当課と行政改革担当課、そして行政参加する住民の議論のやりとりを間近に感じることで、事業を俯瞰し、その意味を考えながら仕事をすることの大切さを学ぶことができました。

**様々な現場を知り、試行錯誤を繰り返した1年。
血肉となった現場力は、自治体に戻ってから大いに役立ちます！**

構想日本では、7年前から地方自治体職員の派遣研修を行っています（期間は概ね1年間）。これまで8自治体12名に来てもらいました。

構想日本の研修は、初めから現場に出て全力投球です。例えば、総合計画を作る自治体の担当として最前線で準備をしたり、省庁職員と国の制度改革の議論をします。どれも初体験ですから当然失敗もありますが、失敗しながら覚えることが“身につく”研修だと考えています。上記3名が得た収穫もその成果です。構想日本と一緒に仕事をすれば必ず大きな付加価値をつけてお返しすることをお約束します！

最近の J.I. フォーラム

※敬称略／肩書きは当時

11/15(水)
第241回 「政治の時代が始まる」

ゲスト

逢坂 誠二（衆議院議員／立憲民主党・北海道8区）
鈴木 騰祐（衆議院議員／自民党・神奈川7区）
平 将明（衆議院議員／自民党・東京4区）
玉木 雄一郎（衆議院議員／希望の党・香川12区）
加藤 秀樹（構想日本代表）



12/14(木)
第242回 「J.I. フォーラム 忘年会」

今年度の J.I. フォーラムのゲストを交え、忘年会を開催しました。J.I. フォーラム初の試みでしたが、多くの方に参加いただき、大いに盛り上りました。



1/18(木)
第243回 「オリンピックはスポーツをダメにする？！」

ゲスト

河本 英夫（東洋大学 教授）
平尾 剛（元ラグビー日本代表、神戸親和女子大学 准教授）
加藤 秀樹（構想日本代表）

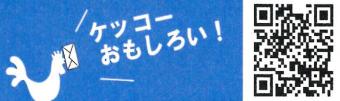


FACEBOOK



構想日本の活動を
いち早くお届け！

無料メルマガ



ケッコー
おもしろい！

構想日本の動き

2017.10～2018.01

- 新聞・テレビ等メディア掲載：20件
- 自治体（職員、議員）との動き：48件
- その他：1件

<自治体（職員、議員）との動き>

- (10/14、15) 広島県三原市事業レビュー
- (10/21) 滋賀県大津市事業レビュー
- (11/11、12) 千葉県鴨川市事業レビュー（事業仕分け）
- (11/22、12/26、1/29) 太田市まちづくり市民会議
- (11/5、11/19、12/2) 北海道恵庭市住民協議会
- 【テーマ：ごみ問題】 ※議会会派主催
- (12/3、1/13) 福岡県大刀洗町住民協議会

【テーマ：防災】

<新聞・テレビ等メディア掲載>

- (10/1) 自治体発の「ふるさと住民票」で「関係人口」を増やそう
—「構想日本」J.I. フォーラム（月刊ガバナンス10月号）
- (11/11) 市民も参加して「事業仕分け」一千葉県鴨川市（NHK）
- (11/25) 公共の利益に住民の力を

—幕別 専門家招き町職員向け講演（北海道新聞）

- (12/9) 飯館村が「ふるさと住民票」導入へ
—福島県初、移住・定住促進（福島民友新聞社）
- (1/16) 「原子力」で意見交換 一県・資源エネルギー・中電（朝日新聞）

<大学・学生との動き>

- 隔週月曜日 京都大学経済学部（代表 加藤秀樹）
「公共経営論2」講義

- 毎週木曜日 法政大学（総括ディレクター 伊藤伸）
法学部「NPO論II」講義

<その他>

- 政府「秋の年次公開検証（秋の事業レビュー）」（1月）
外部有識者として、総括ディレクター伊藤が出席。